



# シュクラン日記 ~No.13~

2022.9.25

## 個人的ニュース

「チュニジアにて、協力隊員の中村君と食事をしました！」

試合でチュニジアを訪れた際、現地でJICA協力隊として活躍している中村幸人君（日体大卒）と食事をさせて頂きました。中村君は日頃の柔道指導のみならず柔道に関する動画をSNSに投稿するなど、様々な角度から普及・強化活動に努めており、話を聞かせて頂く中で学ぶべき部分、尊敬できるところが沢山ありました！また食事の場だけでなく、試合会場でもお会いさせて頂きました。いつも笑顔で優しく、現地の生徒や指導者と良い関係を築いている様子も非常に印象的でした。中村君とは同級生で、私自身も協力隊経験者と共通点も多いので、今後も互いに切磋琢磨し励まし合える関係を築いていければと感じました！



「車を買いました！」

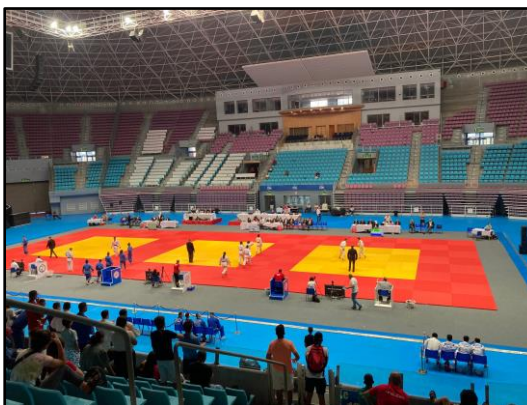


UAEで免許を取得して以降、車を購入するかずっと悩んでいましたが、様々な理由も重なり結果的に購入することにしました。その中でも最も大きな理由は、柔道連盟のオフィス移転に伴い練習場所の変更が現実的になってきたこと（家から50km離れたところ）、そして今後、様々な人と交流を深める為にも移動範囲が広がった方が良いと考えました。車はシャルジャという酋長国で買ったので、ナンバープレートの変更等、手続きは増えますが、アブダビで車を買うよりも大分費用を抑えることが出来たと思います。ちなみに酋長国によって中古車の価格が違うようで、アブダビは高額でした。

## アラブ大会 in チュニジア

9月10〜12日に行われたアラブ大会に参加しました！

今回のアラブ大会はナショナルチームのみならず、アラブ圏各国のクラブチームの参加も可能だったので、UAEナショナルチームからは3名、UAEのシャルジャクラブから約10名の出場となりました。私が主に担当するのはナショナルチームの3名でした。ムハンマド(66kg)・・・右青柔道着、フマイッド(50kg)・・・中央白柔道着、ハマッド(81kg)・・・左青柔道着



**結果** 66kg級のムハンマドは今回が初めての海外試合でしたが、何もできないままに初戦敗退という形で終わりました。海外試合の経験の無さというのは1つ敗因だと思えますが、試合に対する準備や練習不足は否めないと感じました。ただ彼自身がアラブ諸国(特に北アフリカ)のレベルの高さを肌で感じられたことは大きな収穫だったと思うので、この経験を活かして、まずはUAE国内での活躍を期待したいところです。

50kg級のフマイッドはナショナルチーム最年少の15歳での出場でした。果敢に攻める攻撃型柔道で三位決定戦まで駒を進めました。残念ながら

あと一步のところが入賞には届きませんでした。彼は独特な性格の持ち主ですが、コツコツ真面目に練習を頑張る一面もあり、負けたことに対する悔しさも人一倍大きかったと思います。実際試合後は悔しさのあまり「柔道を辞めようかな」とボヤいていました。ただ、本人が目指す結果には届かなかったものの、最年少ながら良く攻めていた部分、物怖じしなかった部分を褒め、また1から頑張ろうと声を掛けました。今後の彼の成長に期待です！

さて3人目の81kgハマッドも同様、3位決定戦まで進むことが出来ましたが、3位決定戦では開始10秒で投げられ一本負けしてしまいました。試合全体を通して緊張からか動きが硬く、思うように技をかけることが出来ていませんでした。結局いつもの調子が出ないまま準決勝、3位決定戦共に負けてしまいました。私も試合では凄く緊張する性格だったので、彼の気持ちも理解できるのですが、やはり勝負の世界ではそれも一つの弱さだと思います。今後の練習や試合経験を経て、心身共に鍛えなければいけないと感じました。

今回は残念ながら入賞者0名という形で終わってしまいました。今後リベンジできるようにチーム一丸となってまた頑張りたいと思いました！

### チュニジアでの不運

さて今回、試合でチュニジアを訪れたわけですが、滞在中には様々なトラブルに見舞われました。

### 不運①・・・盗難

試合中、ウォーミングアップ会場に荷物を置いて

いたのですが、UAEチームが荷物から目を離したすきに、柔道着5着、リュック2つ、そして私のスーツ一式カバンから抜き取られていました。幸い試合に支障は無かったのですが、UAEチームの荷物が明らかに狙われていたのに加え、我々の管理が甘かったせいで、これでもかというくらい荷物を持っていかれてしまいました。シャルジャクラブが私に代わってアラブ柔道連盟に抗議と盗られた荷物を探すよう要求してくれましたが、荷物をしっかり管理していないのが悪いと跳ね返されました。盗まれたことには腹が立ちますが、こちらにも十分落ち度はありません。

#### 不運②…警察に連行されそうになる

協力隊員の中村君と食事をした際、中村君の友人2人（日本語堪能なチュニジア人）も一緒に、合計4人で夕食を食べ、食後は私が滞在していたホテルまで、みんなで送り届けてくれたのですが、レストランからホテルまでの徒歩3分の距離の間で警察官に止められ、「外国人と一緒に歩くのは犯罪にあたる」という謎の罪で、警察車両に乗るよう指示されました。よくわからない罪に私は唖然としていましたが、中村君とその友人が警察官と数分話した後、結果的には連行されず解放してもらえました。中村君に至ってはなぜか警察官とハグするほどに打ち解けていました。本当に心中ヒヤヒヤし、最悪お金で解決できればと考えていましたが、何事もなく済んで安心しました。よくよく事の経緯聞いてみると、チュニジア警察が常習的に行う、一般市民

への絡み方だそうで、チュニジアではよくあることのようにです。ただ、よくある事と言っても、言葉も分からない私にとっては恐怖の時間でした。二度とこのような経験はしたくありません。

#### 不運③…発熱

大会初日、試合中に段々と体調が悪くなり、試合後ホテル内のクリニックで診察してもらおうと38度の熱があることが分かりました。クリニックでは症状から特にコロナを疑われず、風邪薬のみ処方され、翌日には熱もおさまっていたので、疲れていたのかなと思いましたが、UAEに帰国後、念のため受けたPCRテストで陽性だったことが分かりました。コロナなんてどうしたら感染するのだろうかと思うくらいに、最近は身近に感じるものが無かったのですが、チュニジアでマスク無し生活を満喫している間に、感染していたようです。現地の雰囲気にもまれることなく、感染対策の継続が重要だと身をもって感じました。

さて、このように様々なトラブルがあったチュニジア滞在中でしたが、私の荷物の管理や自己管理の甘さもトラブルの原因だったと強く反省しています。良くも悪くも良い経験が出来たと自分の中で落とし込み、今後、このようなトラブルに巻き込まれないよう、外国では物の管理・自己管理をより一層、気を付けようと思いました。